

2

地区別環境配慮指針

※この項では、地区名は北から南の順に表記しています。

(1) 複数地区の共通事項

■ 森林整備の促進

[1-1-1 森林の植生と生態系の保護、1-1-2 山岳地及び里山の森林整備、1-3-2 海浜植物の保護]

① 山岳地の森林整備（全地区）

森林の公益的機能の維持のため整備を促進します。

② 松くい虫による被害の把握及び防除

里山や海岸林などの地区ごとの松くい虫被害の実態を把握し、国・県と協力し、計画的な防除を行います。

■ 地域ぐるみの貴重な動植物の保護

[1-4-1 貴重な野生動植物の保護、1-4-2 生物多様性の確保、1-4-3 人と野生動植物との共生、1-4-4 外来種及び鳥獣被害対策の推進]

③ 貴重な動植物の保護及び地区に特有な自然環境の保全（全地区）

貴重な野生動植物や地区に特有な野生動植物の生息・生育環境の保全に努めます。

④ 鳥獣被害対策の推進（全地区）

ニホンザルやハクビシン・ツキノワグマなど、地区ごとの鳥獣による農作物等への被害の実態を把握し、鳥獣被害防止対策を推進します。

■ 河川環境の保全

[1-2-1 水辺の生態系の保護、2-2-1 水質汚濁の防止]

⑤ 中小河川や農業用排水路の環境保全（全地区）

荒川・三面川のほか、中小河川（山北地区：小俣川・中継川・勝木川、朝日地区：高根川、村上地区：門前川等）や農業用排水路の整備や環境保全を推進します。

■ 野焼きの防止

[2-2-1 大気汚染の防止]

⑥ 野焼き（野外焼却）の防止（全地区）

廃棄物の違法な焼却に対しては、監視・指導を徹底するとともに新たな野焼きが行われないように、意識啓発を行います。

■ 悪臭の少ない大気環境

[2-1-2 悪臭の発生抑制]

⑦ 悪臭の発生抑制（全地区）

事業所に対しては、極力悪臭が発生しないような施設整備や管理が行われるように指導します。

■ ごみの不法投棄の撲滅

[2-6-1 ごみの不法投棄の撲滅、2-6-2 ごみの散乱防止]

⑧ ごみの不法投棄の撲滅（全地区）

地区ごとのごみの不法投棄の実態に合わせて、中小河川・溪流の河岸や林道沿いに、看板等を用いて注意を喚起するとともに、定期的な監視を行います。

■ 海岸漂着ごみ対策の推進

[4-3-1 海岸漂着ごみ対策の推進]

⑨ 海岸漂着ごみ対策の推進（山北・村上・神林地区）

地区内からの河川や海岸へのごみの不法投棄を撲滅するとともに、他地域や外国からのごみの漂着状況に留意し、関係機関等との連携を図りながら継続的な海岸美化を実施推進します。

(2) 各地区の配慮指針

① 山北地区

【地区の概況】

- ・ 面積：283.91 km²
- ・ 人口：7,291 人、2,420 世帯（平成 17 年国勢調査）



山北地区の最も大きな特徴は、山間部が直接海と接する地形上に広がる豊かな自然にあり、その大半が森林によって占められています。山奥の上流域には、ブナなどの自然林も多く、清流にホタルが生息するなど、貴重な自然環境が今も残されています。

海岸部では、府屋周辺の砂浜海岸ではハマナスなどの海浜植物が生育しているほか、笹川流れに沿ってイワユリが見られます。勝木の笹堅八幡宮社叢では、寒帯植物と温帯植物が接する様子が間近に見られるなど、特有な自然環境も残されています。

また、本地区は清浄で美しい湧水が多いことでも知られており、大毎の吉祥清水が環境省の“平成の名水百選”及び新潟県の“輝く名水”に選定されているほか、鱒山清水、四十手清水、興屋清水など、名水の宝庫となっています。

本地区の公共施設などの生活基盤は、JR 府屋駅周辺に集中しており、集落は海岸線や小俣川・中継川・勝木川などの河川に沿って分散しています。いずれも閑静な落ち着いた生活空間が形作られています。

【環境の現況と課題】 ※表中○囲み数字のある課題について環境配慮指針を示しました。

現況	課題
森林面積が広く、貴重な自然林や豊かな生態系が残されているが、山の手入れが行き届かず、竹やぶや荒地が増えた。	○ 山岳地の森林整備と自然林の保護 ○ 河川・溪流に生息・生育する野生の動植物の保護
海浜植物の生育地など、本地区に特有な野生植物が、最近では減少傾向にある。河川では、メダカなどの魚類、カエルなどの両生類が減少している。	○本地区に特有な野生の動植物の生息・生育環境の再生 ○生態系の復元
中小河川の治水対策は進みつつあるが、親水性の点では、まだ改善の余地がある。	○中小河川の治水上の安全の確保 ○親水空間の再生と創造 …①
湧水地が多く、県内でも有数の名水の宝庫である。(吉祥清水、鱒山清水など)	○住民主体が主体の湧水地（清水）周辺の環境整備の推進 …②

【環境配慮指針】

① 新たな親水空間の創造

小俣川・中継川・勝木川などの中小河川について、治水上の安全を確保するとともに、親水空間の整備の可能性に関して検討します。

② 湧水地（清水）周辺の環境整備

湧水地の水源地での地下水涵養と安全な水質を確保するとともに、住民主体の湧水周辺での環境整備活動を継続し、快適な親水空間の創造にもつなげます。

② 朝日地区

【地区の概況】

- ・ 面積：629.32 km²
- ・ 人口：11,489 人、3,029 世帯（平成 17 年国勢調査）



ウッドグリーン

朝日地区では、町や集落の大半が国道7号や三面川及び高根川の下流域にあり、西側区域は人の住まない朝日・飯豊山地によって占められています。広大な森林にはブナなどの自然林も多く、河川や溪流沿いには、イワナやヤマメなどの魚類をはじめ、トケンランの群生地、小国街道沿いのヒメサユリ・オヤマリンドウなど、多種多様な野生の動植物が生息・生育する貴重な自然環境が今も残されています。このような豊かな自然を活かして、奥三面や朝日スーパーライン、鈴ヶ滝など、観光開発も進められてきましたが、最近ではブナ・ナラ枯れや里山の荒廃、魚類の減少など、新たな問題が生じています。

城跡や寺社、国道7号（旧出羽街道）の猿沢から塩野町にかけての旧宿場町などが古い歴史を今に伝えています。また、この区域では、河川や国道沿いや新保岳の林道沿いにごみの不法投棄が多く、社会・生活環境の面での問題が指摘されています。

【環境の現況と課題】 ※表中○囲み数字のある課題について環境配慮指針を示しました。

現況	課題
森林面積が広く、貴重な自然林のほか、多様な動植物が生息・生育し、豊かな生態系が残されているが、年々減少している。	○ 山岳地の森林整備と自然林の保護 ○ 河川・溪流に生息・生育する野生の動植物の保護
日本海東北道の延伸工事等、交通事情が急速に変化しており、周辺環境への影響が懸念される。	○ 道路建設や観光開発における自然環境への配慮 ○ 交通事故増加への懸念 …①
河川の治水対策は進みつつあり、観光開発も進められてきたが、親水性の点では、まだ改善の余地がある。	○ 河川の治水上の安全の確保と、開発行為における一層の環境への配慮 ○ 親水空間の再生と創造 …②

【環境配慮指針】

① 道路建設や観光などの開発行為における環境への配慮

日本海東北自動車道の延伸工事や既設の道路整備、観光開発等においては、国・新潟県及び観光関連の事業者との協力のもとに、自然環境の保全に配慮します。

② 親水施設の維持管理と新たな親水空間の創造

三面川・高根川などの河川について、上流域では治水上の安全を確保するとともに、下流域では多自然型護岸等の親水施設の適正な維持管理に努めます。さらに、周辺の中小河川や水路を含めて、新たな親水空間の整備の可能性に関して検討します。

③ 村上地区

【地区の概況】

- ・ 面積：142.12km²
- ・ 人口：30,685人、10,774世帯（平成17年国勢調査）

村上市役所からJR村上駅にかけての中心市街地は、本市の中核的都市機能を有し、行政や商工業の中心地となっています。同時に、古くからの武家屋敷や町屋など、歴史・文化が現在もその姿をとどめています。狭い裏通りや空地などが生活環境上の問題となっていました。現在、急速に整備が進められています。また、市街地や幹線道路には店舗や駐車場が多く、場所によっては、ごみのポイ



サーモンレッド

捨てが目立っています。

本地区を通過する国道7号などの幹線道路では、時間帯によっては渋滞が発生し、環境負荷の原因となっていますが、平成22年現在、日本海東北自動車道の延伸工事が本地区内で実施されており、これによる負荷軽減の効果が期待されています。

海岸部や門前川上流部の山岳地には、森林が広がり、一部には貴重な自然林が残されています。里山から田園にかけては地域住民により自然が守られ、このためトンボなども増えてきています。また、本地区では、門前せせらぎ公園、道玄池いこいの森森林公園、中州公園やイヨボヤ会館など、市民が自然と親しむ場の整備が進んでいます。村上城跡（お城山）は市民にとっての心の原風景であり、継続的な整備を求める声が多くあがっています。

【環境の現況と課題】 ※表中○囲み数字のある課題について環境配慮指針を示しました。

現況	課題
森林面積が広く、貴重な自然林のほか、タブノキ、魚つき保安林など、特徴的な森林が残されている。	○ 山岳地の森林整備と自然林の保護 ○ 本地区に独特な里山の樹木を保護 …①
三面川下流部や門前川は、貴重なサケ科魚類の生息地であり、流域では、かつて身近に自然が感じられたが、最近では水辺の動植物がかなり減っている。	○ 魚類生息地の継続的な保全 ○ 動植物の失われた生息・生育環境の再生と生態系の復元 …②
三面川下流部や門前川では、親水施設の整備が進んでいる。	○ 親水施設の適正な維持管理 ○ 新たな親水空間の創造 …③
瀬波海岸のセナミスミレや浦田山のカタクリなど、砂丘の植物が特徴的だが、絶滅が懸念されている。	○ 現存する海浜植物を保護 ○ 海岸整備や海水浴場の開発に際しての自然環境への配慮 …④
松原町や JR 村上駅前周辺の工場跡地では、地下水・土壌汚染があるため水質の監視が続けられている。	○ 工場跡地等での地下水・土壌汚染の監視などの実態調査の継続的な実施 …⑤
旧市街地では、武家屋敷や町屋が残されており、現在も市民の生活の場となっている住まいが多く、独特の古い町並みが形成されている。	○ 現在継続されている町並みの復元事業への積極的に参画・協力 ○ 新たな町並みの創造に向けた取り組みの強化 …⑥

【環境配慮指針】

① 貴重な樹木の保護

自然林のほか、保存樹や歴史的に貴重な樹木及びタブノキ・魚つき保安林など、地域に特徴的な樹木を大切に保護します。

② 河川の生態系の保全

三面川下流部や門前川での魚類の生息環境を保全するとともに、過去に生息・生育していた動植物に関する調査を行い、生態系の復元に向けた検討を行います。

③ 親水施設の維持管理と新たな親水空間の創造

親水公園や多自然型護岸等の親水施設の適正な維持管理に努めるとともに、環境教育に積極的に活用します。中小河川や水路についても、親水空間の整備の可能性に関して検討します。

④ 海浜植物の保護

現存する海浜植物に対し、看板や柵などを用いた保護対策を行うとともに、建設及び観光関連の事業者との協力のもとに、新たな保護対策を検討します。

⑤ 工場跡地等での地下水汚染・土壌汚染の実態調査の継続

モニタリングを含む地下水汚染・土壌汚染の実態調査を継続し、その結果を広く公表します。

⑥ 町並み復元保全事業の促進と新たな整備対策の検討

歴史的景観保全助成制度の活用を促進するとともに、市民等が実施する町並み保全事業に積極的に参画・協力します。また、瀬波温泉街や岩船旧市街地の整備にあたっては、地域の独自性ととも資源循環と環境負荷の軽減に配慮したまちづくりの検討を行います。

④ 神林地区

【地区の概況】

- ・ 面積：82.18 km²
- ・ 人口：10,135 人、2,644 世帯（平成 17 年国勢調査）

神林地区は、平野部の稲作農家と畜産農家を中心とした農業や地元産農産物を利用した食品加工を主体として成り立ってきました。同時に、平林城跡や寺社、板碑のほか、塩谷の町並みなどが古くからの歴史を今に伝えています。

里山では、ホタルの生息する中小河川や溪流があるほか、薬師山・要害山には散策路や登山道も整備され、地域住民に親しまれています。しかし、中小河川や溪流のほか農道・林道に沿ってごみの不法投棄も見られ、問題となっています。

また、本地区では、砂丘にある森林公園から海岸線にかけて保安林が整備され



スワンホワイト

ているほか、荒川右岸部では治水工事とともに水辺の楽校などの親水施設が整備されています。さらに、お幕場大池公園や神林とら堤公園など、市民が水辺や緑と親しむ場の整備が進んでいます。

【環境の現況と課題】 ※表中○囲み数字のある課題について環境配慮指針を示しました。

現況	課題
里山の森林が広がり、市民が自然と親しむ場が整備されている。	○ 里山の森林整備と自然環境に配慮した散策路や登山道の整備
里山とそこから流下する中小河川や溪流では、ホタルなど野生動植物が見られるが、最近ではかなり減っている。	○ 残された野生動植物の生息地の保全及び失われた生息・生育環境の再生と生態系の復元
荒川堤外地（河道内）では、自然環境が大きく変化してきた。荒川右岸部のほか、池などで親水公園の整備が進んでいる。	○ 水辺での開発行為等における一層の環境への配慮 ○ 親水空間の再生と創造 …①
海岸部では、砂丘の森林公園とつながる形で保安林や海岸の整備が進んでいる。	○ 現存する海浜植物の保護 ○ 海岸整備に際しての自然環境及び保安林への配慮 …②
塩谷の町並みなどが残され、は現在も市民の生活の場として、古い歴史を今に伝えている。	○ 町並みの復元事業の継続と積極的に参画・協力への促進 ○ 新たな町並みの創造 …③

【環境配慮指針】

① 親水施設の維持管理と新たな親水空間の創造

親水公園や多自然型護岸等の親水施設の適正な維持管理に努めるとともに、環境教育に積極的に活用します。中小河川・溪流及び水路についても、親水空間の整備の可能性に関して検討します。

② 海岸の自然環境の保全

現存する海浜植物の保護に努めるとともに、砂浜海岸の侵食防止に関して検討します。

③ 町並み復元事業の促進と新たな復元対策の検討

市民等が実施する町並み復元事業に積極的に参画・協力します。特に、塩谷の町並みの整備にあたっては、地域の独自性ととともに資源の循環と環境負荷の軽減に配慮したまちづくりの検討を行います。

⑤ 荒川地区



【地区の概況】

- ・ 面積：36.71 km²
- ・ 人口：11,105 人、3,454 世帯（平成 17 年国勢調査）

荒川地区は、荒川左岸部の田園地帯と高坪山を頂点とする中山間地（里山）からなる、農業を中心とした地区です。その中心街である坂町は、国道 7 号（旧出羽街道）と国道 113 号（旧米沢街道）が交わる交通の要衝として、古くから栄えてきました。現在も、町並みの一部が残されています。中心街の周囲では、地下水が豊富にあり、湧水も見られます。このように水が豊かであり、烏川・大日川などの数多くの河川・用水路にも水をたたえています。一方、平坦地に豪雨が降ると排水が追いつかずに、たびたび浸水被害をもたらしてきましたが、近年では整備改善されています。

里山では、森林の荒廃や畑の耕作放棄地なども目立ちますが、伐採も行われ、自然環境の回復の兆候が見られます。しかし、里山の林道沿いや水路脇、農道沿いではごみの不法投棄も見られ、問題となっています。

また、本地区では、荒川左岸部で治水工事とともに、多自然型護岸や親水施設の整備が進められています。

【環境の現況と課題】 ※表中○囲み数字のある課題について環境配慮指針を示しました。

現 況	課 題
南西部には里山の森林が広がり、森林の荒廃が進んでいる一方で、保全に向けた取り組みも行われている。	○ 里山の森林整備 ○ 自然環境に配慮した散策路や登山道の整備
荒川堤外地（河道内）では、自然環境が大きく変化してきた。荒川左岸部では、親水施設が整備されている。	○ 水辺での開発行為等における一層の環境への配慮 ○ 親水空間の再生と創造 …①
地下水が豊富であり、湧水が見られる。	○ 地下水の量と水質の安全の確保 …②
水田や市街地を流れる水路では、豪雨の際度々排水不良となり、浸水被害をもたらしてきたが、最近では改善されている。	○ 水路整備の推進 ○ 身近な水辺の自然環境の再生・復元 …①

【環境配慮指針】

① 親水施設の維持管理と新たな親水空間の創造

親水公園や多自然型護岸等の親水施設の適正な維持管理に努めるとともに、環境教育に積極的に活用します。中小河川・溪流及び水路についても、排水能力の向上とともに、親水空間の整備の可能性に関して検討します。

② 豊富で安全な地下水の確保

地下水涵（かん）養と安全な水質を確保するとともに、湧水周辺での快適な親水空間の創造にもつなげます。

